

基本目標1 魅力ある「ひと」の機会を創出し、社会動態の改善を目指す	数値目標			分野	KPI	基準値	目標値(H31)	H29.3末値	H30.3末値	H30.9末値	具体的事業	進捗状況	H29年度、及びH30年度上半期の取組み状況（※△、×の場合は、実施できなかった理由を記載）		
	H29.3末値	H30.3末値	H30.9末値										H29年度	H30年度(上半期)	
農業支援	①有効求人倍率:全国平均並み	西村山1.02 ※寒河江1.20 (平均)	西村山1.20 ※寒河江1.38 (平均)	西村山1.23 ※寒河江1.47 (H30.4~7平均)	紅秀峰栽培面積	40ha (平成26年度)	55ha	46.0ha	50.1ha	50.1ha	・さくらんぼ労働力の確保(収穫期における若手短期労働者への市特産品の支給や研修会開催など)	◎	H29年度	さくらんぼ箱詰め研修会(85人)、さくらんぼボーナス(1,029人)、さくらんぼ作業体験事業による学生ボランティアの受け入れ(15人)、さくらんぼオーナー制(244件)による収穫作業の軽減など4つの施策による労力確保対策を推進。	
	②今後5年間の社会減改善数:242人(累計) 今後5年間の社会減:-158人	-166 (27.4~29.3)	-184 (27.4~30.3)	-168 (27.4~30.9)	つや姫ヴィラージュ面積	40ha (平成27年度)	80ha	46.0ha (H28産)	44.9ha	45.2ha	・つや姫ヴィラージュの市内各地区への拡大	△	H29年度	山形県のつや姫生産面積認定の頭打ちによる団地化の停滞に加えて、生産農家の出荷先の変更によりつや姫ヴィラージュの総面積は減少。	
					研修受入農業経営体数	3経営体 (平成27年度)	6経営体	3経営体	8経営体	9経営体	・紅秀峰・つや姫の販路拡大支援(輸出を含む)	○	H29年度	・紅秀峰 大阪から東京に移してトップセールスを実施。輸出については、新たに香港の高級スーパーにサンプルを提供し、販路拡大に向けて取組み実施。	
					新規就農者数	53人 (累計:平成22年~26年)	70人 (累計:平成27年~31年)	24人 (+11人)	33人	-	-	・地域伝統野菜(子姫芋など)や枝豆などの生産体制の強化(組織化及び組織強化等)	○	H29年度	・もって菊組合における新たな包装パッケージを開発を支援。購入者を対象としたアンケート調査の実施。 ・子姫芋 安定出荷体制の確立する観点から、保存設備(冷蔵庫や真空包装機など)の整備補助を実施。首都圏での販売拡大に向けた商談会に参加。 ・谷沢梅 市内及び市外スーパー(天童市)において、梅干し作り講習会によるPRを実施。
													◎	H29年度	・継続的な生産を支え、作業効率化などを図る設備への支援(高所作業車や雨よけテントなどの設備投資の補助など)
													○	H29年度	・後継者への円滑な経営移譲の支援
													◎	H29年度	・新規就農者の受入れ体制の拡大(受入農業経営者への支援など)
													◎	H29年度	・新規就農者(Uターン者などを含む)の確保等の強化
													◎	H29年度	・農地集積・集約に向けた農地の流動化の促進(農地中間管理事業の促進など)
													○	H29年度	・6次産業化に向けた組織設立や地産地消の促進など地域内流通等を強化する取組
													◎	H29年度	・「さがえのごっつお給食」の実施や寒河江産つや姫及びはえぬきの通年採用に加えて、寒河江産野菜を使用したカット冷凍野菜を新たに導入するなど、学校給食や木育・食育フェス(約1,700人)を通じた地産地消の食育を推進。 ・寒河江の伝統野菜である、子姫芋、もって菊、谷沢梅を使った食育事業を実施。
	企業支援・企業誘致	国・県の制度(人材確保・育成、技術開発、設備投資、販路開拓)を活用した寒河江市内の企業数	93件 (平成26年度)	115件 (平成31年度)	156件	151件	95件					・企業支援ニーズ発掘調査及び支援情報の発信(企業訪問、説明会、メールリスト発信など)	◎	H29年度	メルマガ「さがえ企業支援だより」を通じて企業支援情報を発信(登録件数80件/配信回数14回)するとともに、市内外への企業訪問を実施(69件)。
地域再生計画の策定		-	策定 (平成27年度中)	策定済	策定済	策定済					・地域資源等を活用した新事業への支援(国・県事業との連携など)	◎	H29年度	「ふるさと名物応援宣言」を踏まえた国のふるさと名物応援事業補助2件(ニト企業)が採択されるとともに、市の販路拡大支援事業の補助を実施(ニト企業、醸造業、食品加工業の計5件)。	
製造品出荷額及び製造業従業員数		製造品出荷額 1,438億円 従業員数 5,494人	製造品出荷額 年間1,600億円 従業員数 5,620人	製造品出荷額 1,426億円 従業員数 4,968人 (H27)	製造品出荷額 1,382億円 従業員数 4,908人 (H28)	-	-				・企業の魅力PRを通じた人材確保への支援	◎	H29年度	ハローワークと連携した就職相談会を計4回(市内2回/河北町内1回/東京1回)開催し、延べ90社の市内企業が参加。	
工業団地の立地企業数及び従業員数		企業数 82社 従業員数 4,074人	企業 90社 従業員数 4,200人	企業84社 従業員数 3,942人 (H29.4)	企業84社 従業員数 3,922人 (H30.4)	-	-				・企業誘致・定着の促進(地域再生計画の策定、工業団地の拡張等に係る可能性調査の実施)	◎	H29年度	1社(食品製造業)に寒河江中央工業団地2.4haを分譲(未分譲地17.4ha→15.0ha)するとともに、(一財)日本立地センターと連携した工業用地に係る企業訪問や地域未来投資促進法に基づく基本計画を山形県とともに策定。	
創業支援	創業支援事業計画の策定	-	策定 (平成27年度中)	策定済	策定済	策定済					・金融機関・商工会及び他自治体と連携した広域創業支援体制の整備(創業支援事業計画の策定、相談窓口の設置・セミナーの開催)	◎	H29年度	金融機関や商工会から構成される創業支援連絡調整会議を開催(2回)し、西村山11市4町と連携した創業セミナーを1回開催(合計7名参加)するとともに、創業者などをターゲットとした空き店舗対策事業の補助(8件)。	
	創業支援対象者数及び創業者数(第2創業含む)	※商工会を通じた創業支援8件 (平成26年度)	対象者数 120人 創業者数 42人	対象者数 107人 創業者数 51人	対象者数 93人 創業者数 40人	-				・創業後のきめ細やかな支援(専門家による個別経営指導や地元ネットワークづくりの助成など)	◎	H29年度	創業後の安定経営を支援する観点から、起業創業支援(9件)及び創業者ビジネスネットワーク構築支援(11件)を実施。		
											・空き店舗情報の発信強化(空き店舗バンクの創設等)	◎	H29年度	地図情報や店舗内写真などの詳細な空き店舗情報を集約した空き店舗バンクを創設し、市ホームページで物件情報を発信。	
												◎	H30年度(上半期)	空き店舗バンクの情報を随時更新し、情報を発信中。(9月時点で15件の物件を掲載)。	

※事業毎の進捗状況: ◎→平成29年度までに実施済み ○→平成29年度までに実施していないが、平成30年度に実施済み △→平成29年度までに実施していないが、平成30年度実施に向けた準備活動中 ×→平成29年度までに実施しておらず、実施見通しなし

※複数の担当課がある場合には、下線がある課が取りまとめ課

※H30.9末値が出ない場合は、「-」

基本目標 2 地域資源を磨いて魅力を発信することで交流人口及び定住・移住人口増を図り、社会動態の改善を目指す	数値目標			分野	KPI	基準値	目標値(H31)	H29.3末値	H30.3末値	H30.9末値	具体的事業	進捗状況	H29年度、及びH30年度上半期の取組み状況（※△、×の場合は、実施できなかった理由を記載）	
	H29.3末値	H30.3末値	H30.9末値										年度	内容
①寒河江市を訪れた観光客数:353万人	374万人	359.2万人	-	観光振興	観光客数	343万人 (平成26年度)	353万人 (平成31年度)	374万人	359万人	-	・新たな観光資源の発掘・整備(チェリーランドの再整備に係る検討、桜回廊及び慈恩寺ガイダンス施設の整備など)	◎	H29年度	山岳シーズンに合わせ、葉山のガイドブックを関東甲信越圏のアウトドアショップへ配布。慈恩寺旧境内整備検討委員会にて慈恩寺ガイダンス施設の概要を検討。
													H30年度(上半期)	山形百名山に選出された「葉山」において、新たな登山道の整備を検討。新ルートの整備にあたっては、首都圏の大学生によるスタディツアーと連携し、若者向けのSNS等による情報発信を行うなど、新たな手法を取り入れながら実施。慈恩寺ガイダンス施設の整備については、その整備の基本設計を策定中。
													H29年度	西村山1市4町に山形県、中山町及び山辺町等を加えた「フルーツライン左沢線活用協議会」を発足させ、各地域における観光イベント(谷地どんが祭りなど)を連携。
														H30年度(上半期)
													H29年度	本市への玄関口となるJR寒河江駅構内の観光案内所及び国史跡慈恩寺敷地内へ無料公衆無線LANを整備。
														H30年度(上半期)
													H29年度	桜まつりの新たな観光スポットとして市民体育館裏の二ノ堰の水面に映える桜並木をライトアップ。「さくらんぼ祭り」などにおいて、新たな音楽イベント「チェリフェス」やクラフトフェア「てとて市」の開催や、冷たいラーメン祭りの拡充など、コンテンツの充実によりイベントの魅力を向上。
														H30年度(上半期)
													H29年度	西村山1市4町に山形県、中山町及び山辺町等を加えた「フルーツライン左沢線活用協議会」を新たに発足するなど広域観光を推進するとともに、仙台市民1,000名への観光アンケート調査を実施。
														H30年度(上半期)
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
・定住	-	-	-	-	移住交流ポータルサイト等のアクセス数	-	1万回	8,194	8,060	6,219	・移住支援体制の整備(移住希望者向けの相談窓口の設置やハローワークとの連携など)	◎	H29年度	96件の移住相談に対応したほか、5月・10月・1月のハローワークさがえ就職面談会、3月山形ワークフェス(東京)においてUIターン相談に対応。
					H30年度(上半期)	76件の移住相談に対応したほか、5月・10月のハローワークさがえ就職面談会においてUIターン相談に対応。								
					移住相談件数	-	250件 (累計:平成27~31年度)	143 (+54)	299 (+156)	339 (+140)	・若者Uターンの支援(独自奨学金返還支援制度の創設)	◎	H29年度	山形県若者定着奨学金返還支援事業において14名を認定。また、Uターン若者夫婦を対象に奨学金の返還支援を行う、寒河江市若者定着支援未来創成事業を創設し1名認定。
					H30年度(上半期)	山形県若者定着奨学金返還支援事業において4名を認定し追加募集中。また、寒河江市若者定着支援未来創成事業を募集中。								
					U・I・Jターン住宅支援件数	20件 (累計:平成24~26年度)	150件 (累計:平成27~31年度)	109 (+36)	178 (+69)	252 (+74)	・Uターン子育て世代向けへの家賃補助などの移住定住に向けた住宅支援	◎	H29年度	子育て定住住宅建築事業(49件163人)
H30年度(上半期)	子育て定住住宅建築事業(45件153人)													
シティプロモーション戦略の策定	-	策定(平成27年度中)	策定済	策定済	策定済	・戦略的な魅力発信(シティプロモーション戦略の策定や移住・交流ポータルサイトの開設など)	◎	H29年度	市の企業紹介を含むシティプロモーションサイトを作成し、立ちあげた。子育て世代をターゲットとした子育て支援策(学童保育施設の整備や学校給食無料化の推進など)や移住支援策と連動したキャッチフレーズ「寒河江は子育てに本気です!」を前面にしたプロモーションを展開(県内外の子育てコミュニティ誌への掲載15回)。					
H30年度(上半期)	平成31年度開所予定の基幹保育所の整備と連動した「寒河江は子育てに本気です!」のプロモーションを実施(県内外の子育てコミュニティ誌への掲載6回)。													
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※事業毎の進捗状況：◎→平成29年度までに実施済み ○→平成29年度までに実施していないが、平成30年度に実施済み △→平成29年度までに実施していないが、平成30年度実施に向けた準備活動中 ×→平成29年度までに実施しておらず、実施見直しなし

※複数の担当課がある場合には、下線がある課が取りまとめ課

※H30.9末値が出ない場合は、「-」

自然動向の改善を目標とする	数値目標	H29.3末値	H30.3末値	H30.9末値	分野	KPI	基準値	目標値(H31)	H29.3末値	H30.3末値	H30.9末値	具体的事業	進捗状況	H29年度、及びH30年度上半期の取組み状況 (※△、×の場合は、実施できなかった理由を記載)		
														年度	内容	
基本目標の改善を目標とする	①合計特殊出生率:1.7人	1.70 (H27.1~12 人口動態統計)	1.45 (H28.1~12) 山形県統計年鑑	-	結婚率	4.4 (平成25年度)	5	4.7 (平成27年度)	3.6 (平成28年度)	-	-	・結婚活動への支援(婚活コーディネーターや結婚支援活動団体への支援など)	○	H29年度	婚活コーディネーターによる結婚仲介支援(成婚件数2件)や、結婚支援団体へのイベントに助成(1件)したほか、新婚世帯の住居費や引っ越し費の助成(11件)を行った。	
														H30年度(上半期)	婚活コーディネーターによる結婚仲介支援により1組が成婚したほか、結婚新生活支援事業の助成が1世帯あった。	
	②出生数:平成31年 320人	291 (H28.1~12)	268 (H28.1~13)	-	山形いきいき子育て応援企業数	34社 (平成26年度)	50社	40社	-	-	42社	・妊娠から子育てまでの切れ目のないソフト支援「寒河江型ネウボラ」(子育て世代包括支援センター活動の推進、子育て支援ガイドブックの作成・配布など)	◎	H29年度	平成28年度から設置した子育て世代包括支援センターにおける相談支援や産後ケア事業を継続するとともに、4月以降に出産された母親と赤ちゃんに、出産を祝福し子育てを応援するメッセージカードと赤ちゃん用品や商品券等を贈呈する「さがえっこハッピーギフト事業」(贈呈実績261人)及び産前産後ヘルパー助成事業を開始した。	
														H30年度(上半期)	特定不妊治療費助成上限額を30万円に増額。(県の助成事業に加え、市独自助成もあり)一般不妊治療(人工授精のみ)に係った治療費について新たに一部助成を開始(通算2年間で上限7万円)。妊産婦等支援専門員(助産師)を新たに配置し、産前産後サポート事業として助産師による相談・教室等の事業を実施した。	
	結婚・出産・子育て支援	子育て支援に満足している方の割合	-	-	※子育て支援に不満に思わない割合 63.7%(就学前児童保護者に限る)	70%以上	-	-	-	-	-	・子ども・子育て世代への経済的支援の強化(医療費無料化の対象拡大、任意予防接種助成の対象拡大、学校給食の無料化、保育料無料化の対象拡大など)	○	H29年度	任意予防接種「おたふくかぜ(3,000円)」「ロタウイルス(12,000円)」について一部助成を継続して実施するとともに、「季節性インフルエンザ(2,000円)」の対象者を満1歳から高校3年生相当(18歳)まで拡大して一部助成を実施した。小学校給食費は内容を充実(単価260円⇒280円)したうえで、保護者負担の半額(140円)を助成。第3子以降は全額(280円)助成(実質無料化)。中学校給食についても内容を充実(295円⇒310円)したうえで、充実分(15円)を助成した。保育料無料化については、第3子保育料無料化の対象年齢の年齢制限を撤廃した。	
														H30年度(上半期)	任意予防接種「おたふくかぜ(3,000円)」「ロタウイルス(12,000円)」について一部助成を継続して実施した。小学校給食費は1食280円のうち保護者負担の半額(140円)を助成、第3子以降は全額(280円)助成(実質無料化)。中学校給食費は1食310円のうち15円を助成して、保護者の負担軽減を図った。医療費の完全無料化については、平成30年7月受診分より、対象範囲を高校3年生まで拡大して実施した。	
	子ども・子育てインフラの充実化(保育施設改善、放課後児童クラブの整備充実及び遊具施設や児童公園等の整備充実など)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	・子ども・子育てインフラの充実化(保育施設改善、放課後児童クラブの整備充実及び遊具施設や児童公園等の整備充実など)	◎	H29年度	平成28年度に実施した市内児童遊園遊具の点検結果を受け、「寒河江市キッズパーク整備事業」を立ち上げ、10町内会等に対し、老朽化し危険な遊具の更新費用に対する補助を実施。西根小学校区及び南部小学校区の利用児童数の増加により、新たにねっこクラブ第3・第2なかよしクラブを開所した。にしね保育所の定員を30名増の130名に拡大、また、ゆりかご子ども園の施設整備費に対する補助実施した。	
														H30年度(上半期)	寒河江中部小学校区の利用児童数の増加により、新たに第四わんぱくクラブを開所した。ゆりかご子ども園の定員を20名増の60名に拡大した。	
	働く女性への支援(働く女性応援プランの策定など)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	・働く女性への支援(働く女性応援プランの策定など)		H29年度	ダイバーシティ推進セミナーを公益社団法人寒河江青年会議所と共催で開催(H29.5)(参加者120人)
															H30年度(上半期)	
共通目標	住みやすさに関する満足度	73%(平成26年)	80%以上	-	-	-	-	-	-	-	-	・都市計画マスタープランの全体構想と連動したまちづくりの推進	◎	H29年度	中心市街地を通過する必要のない大型車両等を域外通行に誘導するなど中心部の交通環境の向上を図るため、中心市街地を囲むように形成する内回り環状線の都市計画道路 落衣島線(西根地内)の事業化	
														H30年度(上半期)	都市計画道路落衣島線(西根地内)の測量業務等の実施	
	住宅団地造成の促進及び住宅取得の支援	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	・住宅団地造成の促進及び住宅取得の支援	◎	H29年度	良好な住環境の整備促進を目的とした宅地開発事業者への助成を実施(3件)個人の住宅取得への補助を実施(109件)。	
														H30年度(上半期)	良好な住環境の整備促進を目的とした宅地開発事業者への助成を実施(1件)個人の住宅取得への補助を実施(83件)。	
	空き家バンクの拡充等の空き家対策の推進	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	・空き家バンクの拡充等の空き家対策の推進	◎	H29年度	寒河江市空き家等対策計画を策定 空き家利活用を支援するため、移住者のリフォームに対して補助を実施(2件)	
														H30年度(上半期)	県宅建協会寒河江支部と合同で空き家相談会の実施(相談件数7件)	
	中心市街地の活性化(中心市街地の活性化を推進する計画の策定など)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	・中心市街地の活性化(中心市街地の活性化を推進する計画の策定など)	◎	H29年度	にぎわい創出支援事業の補助(6件)、寒河江駅前自由市場(ちゅり〜マルシェ)の実施(12回:のべ参加者数13,324人)及びふれあい駅前盆踊り大会(参加者数1,500人)を開催するとともに、地域おこし協力隊員による中心市街地活性化センター(フローラ・SAGAE)の活性化を実施(屋上スペースの利活用の実施(映画上映会2回やビアガーデン2回の開催など))。	
														H30年度(上半期)	にぎわい創出支援事業の補助(6件)、寒河江駅前自由市場(ちゅり〜マルシェ)の実施(7回:のべ参加者数7,025人)及びふれあい駅前盆踊り大会(参加者数1,500人)を開催。	
	空き店舗の活用や克雪の観点を踏まえたまちづくりの推進	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	・空き店舗の活用や克雪の観点を踏まえたまちづくりの推進	◎	H29年度	雪対策としては、雪の総合窓口の設置や除雪情報管理システムを導入し、きめ細かな除雪の実施(一斉除雪13回)。空き店舗バンクによる空き店舗情報を発信するとともに、空き店舗改装・家賃補助(8件)を実施。	
														H30年度(上半期)	空き店舗対策支援事業の対象地域を中心市街地から市内全域に拡大し、空き店舗情報を発信するとともに、空き店舗改装・家賃補助(6件)を実施。	
生活サービスを効率的に提供するネットワーク(公共交通等)や地域の拠点づくり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	・生活サービスを効率的に提供するネットワーク(公共交通等)や地域の拠点づくり	◎	H29年度	H29.4から山交バス路線寒河江・月山銘水館線の西川町営バスによる道の駅にしかわ・寒河江駅線代替運行開始。デマンドタクシー・共通乗降場の整理、循環バス:ダイヤ改正等を実施。		
													H30年度(上半期)	デマンドタクシー、市内循環バスの利用率向上や普及向け、チラシ・時刻表作成について、民間事業者と連携して実施。		
地域づくり支援を通じた地域の拠点化(廃校の利活用など)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	・地域づくり支援を通じた地域の拠点化(廃校の利活用など)	◎	H29年度	旧田代小学校を核としたコミュニティビジネスを創出し、地域の拠点化を図るため、改装(リノベーション)を実施。地域の活力アップ応援事業において3件の補助を実施。		
													H30年度(上半期)	学びの里TASSHOを活用したコミュニティビジネス開始(H30.4月)。地域の活力アップ応援事業を活用した地域づくりを促進するため取り組みやすいメニューを新設し、補助事業を実施中。		

※事業毎の進捗状況: ◎→平成29年度までに実施済み ○→平成29年度までに実施していないが、平成30年度に実施済み △→平成29年度までに実施していないが、平成30年度実施に向けた準備活動中 ×→平成29年度までに実施しておらず、実施見直しなし  
※複数の担当課がいる場合には、下線がある課が取りまとめ課  
※H30.9末値が出ない場合は、「-」